



1 玉の山城  
～背・中越しにみた空は～

表現の絆みらい第一回本公演

2月23日(日)



# 全員、主役。

舞台は目的ではなく手段。ともに成長する過程を大切にします。



表現の絆 みらい  
【稽古指導】  
平田瑞杏

2014年大阪狭山市の中高生が取り組む舞台『新龍神伝説～風の声がきこえる～』と出会い、ココロが震えるほどの感動体験をした基山町の子どもたち。  
そして同年「私たちのまちでこんな活動がしたい」と、新しい団体「表現の絆みらい」を発足しました。  
「一生命はカッコいい」「一生命はきっといつか未来に届く」を活動理念に置き、一人一人が自分自身と向き合い、ありのままの自分を表現できるように取り組んでいます。  
地域と繋がり、たくさんの人と出会い、支えられながら、凛と今を生きて子どもたちの海が、ここにはあります。  
6年越しの想いの実現、そのキセキの舞台にどうが並合せて下さい。



表現の絆 みらい  
【メンバー】  
中村莉彩

6年前、初めてこの活動と出会ってからはずっと夢見てきた自分の舞台。  
つらいことや投げ出したいときもあつたけど、一緒に頑張っている仲間やたくさんの人と繋がって出会った、私に元気をくれました。  
決してプロの集団ではあつたけど、一人一人が自分と向き合い、自分の目標や「一生命のカッコいい」を表現して！  
私たちだけが勝手に創りあげた舞台、ぜひ観に来てほしい！



## 【表現の絆 みらい】について

～舞台を通じた居場所づくり、人づくり～  
2014年大阪狭山市の中高生が取り組む舞台『新龍神伝説～風の声がきこえる～』が基山町で行われました。そこで同世代の子ども達が見せてくれた「一生命はカッコいい」という姿に、基山町の子ども達は感動を覚えます。「私たちの町でもいつかこんな舞台をしたい！」そんな想いを抱き「一生命はきっといつか未来に届く」を合言葉に表現の絆みらいが誕生しました。  
地域・世代・団体を越えた出会いの中で、ありのままの自分を受け入れ、他者を理解し、共に成長する。そんな居場所作り、人づくりを目指しています。  
そして今回、6年前に抱いた想いを形に、新たな1歩を踏み出します。

## 【風の山城～背中越しみれば～舞台のあらすじ】

自分達の舞台をする事を夢見て、5年も活動をしてきたまひるの達であったが、ゼロから創り出すという大きな壁を超えられなかった。活動の意味もわからなくなり、解散の話し合いになる。  
「こんな事なら出会わなければよかった」まひるがつぶやいたとき、記憶が曖昧になり混乱している祖母ヒロが訴えた。「そげんなこと、言わんで。みっちゃん、ゆうちゃん、約束破ってごめんね」まひるたちは、ヒロの記憶の世界を垣間見る。昭和20年、基山山頂。奇跡的に出会った3人の少女たち。戦火の悲惨な風景をみながら誓う。「私達がキボウノヒカリになり、ここで会おう！」風の山城の約束。果たせなかった約束で苦しむ祖母ヒロに寄り添うべく、まひるたちは動き出す。  
～あなたの背中越しにみたものは、愛しさにあふれていました～

## 舞台情報

会場：基山町民会館 大ホール

〒841-0204 佐賀県三養基郡基山町大字宮浦 666

日時：2020年2月23日(日)

昼公演／開場 12:30 開演 13:00

夜公演／開場 17:30 開演 18:00 **全席自由**

料金：大人 2,000円 高校生以下 1,000円  
(当日 500円アップ)

チケット販売先

TEL：0942-92-1211 (基山町民会館)

0942-92-3645 (鳥栖市民文化会館)

公演に関するお問合せ

MAIL：kizuna.mirai2014@gmail.com

## チケット購入方法

①基山町民会館へ電話

②鳥栖市民文化会館へ電話

③LINE@予約フォームへ入力

※下記のQRコードから予約フォームに進めます

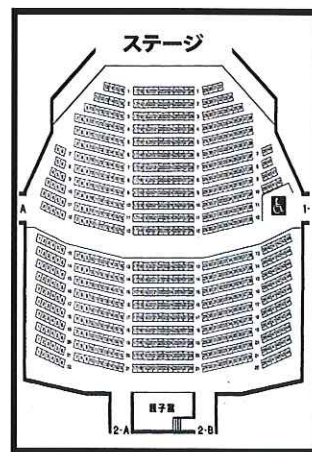
LINE@予約フォーム



～風の山城～

本公演に関する情報ページ

※情報は随時更新致します



会場図 (座席数：800席)

## 出演団体

表現の絆みらい (佐賀県基山町) 飛翔倶楽部たけお (佐賀県武雄市)  
表現倶楽部うどい (大阪府大阪狭山市) あすなろ倶楽部・絆の星 (和歌山県日高川町)  
佐賀県立鳥栖商業高等学校ダンス部・演劇部 専門学校 ESP エンタテインメント福岡 風の声がきこえる OG・OB

主催：表現の絆みらい Kick ton ton 基山

後援：基山町 基山町教育委員会 基山町商工会 基山ライオンズクラブ 鳥栖市 鳥栖市教育委員会 鳥栖商工会議所  
鳥栖ライオンズクラブ 鳥栖養基ライオンズクラブ 鳥栖ロータリークラブ みやき町 みやき町教育委員会

公式 SNS



表現の絆  
みらい  
MIRAI



【一生懸命はきっといつか未来に届く】

公演に向け積み重ねた稽古回数

計 136回

公演に向け積み重ねた実戦パフォーマンス

- ・吉野ヶ里軽トラ市 11回
- ・きやま門前市 2回
- ・ケーブルワン40周年記念イベント(武雄)
- ・養子の日特設イベント(鳥栖)
- ・筑紫女学園大学(メンバー捜索舞台)
- ・みんなのSHOW(鳥栖)
- ・夏越し祭り(基山町4区)
- ・けやき台夏祭り(基山町けやき台)
- ・洗心寮収集穫のまつり(基山町)
- ・翔朋学園感謝祭(小郡)
- ・四季彩の丘ハロウィンパーティー(みやき町)
- ・武雄物産祭(鳥栖)
- ・青葉園感謝祭(鳥栖)
- ・ふれあいフェスタ(基山町)
- ・表現の絆みらい第一回表現ワークショップ公演
- ・表現倶楽部うどい第13回本公演(大阪府大阪狭山市)
- ・あすなろ倶楽部・絆の星第5回本公演(和歌山県日高川町)
- ・PICFA 大縁会(基山町)
- ・小城市災害ボランティア(小城市)
- ・武雄市豪雨災害ボランティア(武雄市)
- ・映画「ビリギャル」のモデル 小林さやかさんと東明館理事長荒井優さん来訪

計 34回

6年越しの想い

2月23日の本公演に向け、1つ1つ積み重ねてきました

私達の表現を、私達の創る公演を、ぜひ観に来てください!



表現の絆  
みらい  
MIRAI

# 1 基の山城 ～昔中越しにみららい～



指導 平田瑞杏

## この舞台を通じたの 感動体験が 子どもを変える

小学生～高校生で構成される表現団体「表現の絆みらい」の指導・事務局をしている平田瑞杏と申します。

私は、「みらい」の発足のきっかけにもなった大阪狭山市の「表現倶楽部うどい」の卒業生です。18歳の時に公演で基山町に訪れ、大学卒業後も子どもたちの中に芽生えた志を共に実現しようと基山町に拠点を置き活動をしています。

2014年大阪狭山市の中高生が取り組む舞台「新龍神伝説～風の声がかきこえる」と出会い、ココロが震えるほどの感動体験をした基山町の子どもたち。そして同年「私たちのまちでもこんな活動がしたい!」と、小学生6名から『表現の絆みらい』が発足しました。「一生懸命はカッコいい」「一生懸命はきっといつか未来に届く」を合言葉に、各地の仲間と絆を結びながら、次はきっと自分たちの番だ!と一歩ずつ前に進んできました。しかし子どもたちの想いとは裏腹に、新たな舞台を創り上げることは想像以上に難しく、基山町に来てから想いの実現までに2年かかりました。「みらい」が立ち上がってから6年、今回の舞台はその想いの実現です。

当時小学5・6年生だった6人のメンバーは中学、高校生になっており、それぞれの道に進み、ここを離れる人もいました。ある時には、稽古に行くメンバーがたった1人体育座りしている。その背中をみた時、本当にこの町でこの子たちと、この挑戦が正しいのか、この挑戦がみんなを苦しめているんじゃないかと悩み、苦しみました。「ずっとこの挑戦が重かった。」「なんのために舞台がしたいのか。」6年間、メンバーも私も、何度も直面してきた大きな壁。舞台上立つ子どもたちの姿をみて、会場に足を運んで下さる皆さんの目をみて、何のための舞台なのか。今回はその答え合わせの場です。

心が震えるほどの感動体験が、子どもを変える。

子どもが変われば、大人が変わる。

大人が変われば、地域が変わる。

そんな奇跡の瞬間に立ち会ってください。

ある人の言葉を借りて、幕が開いた6年前の始まりの舞台。あの日からの続きが、この舞台にあります。

エピソードゼロ。ついに幕開けの時です。各地の仲間と共に創り上げてきたこの舞台。是非とも観に来てください。

みんなの魂の叫びが、溢れんばかりの一生懸命が、多くの方々に届きますように...

